



未来を夢見て Season 2

2021/6/7 No. 80

2000年の歴史を越えて～5年生 総合的な学習の時間「稲作」～

先週の嵐が嘘のような月曜日です。今日から朝の校庭を開放し、子供たちが朝遊びをする姿が見られるようになりました。感染症対策をしっかりと行った上で、少しでもストレスを発散してもらえれば幸いです。

朝の時間はGoogle Meetを使って児童集会が行われました。このこと自体はもう珍しいことではないのですが、今回は子供たちが主役の児童集会。Chromebookのカメラに向かって慣れた様子で発表する姿に、改めて子供たちの対応力の高さを感じました。ちなみに今年の児童会のめあては『みんなで協力し、笑顔、元気、思いやりあるつばめ児童会にしよう』です。6年生の皆さんには、コロナ禍で様々な制限がありますが、活動を工夫して全校のために委員会活動に取り組んでほしいと願っています。



さて、今日は金曜日に実施できなかった田植えが行われました。講師は地域コーディネーターの千坂さん、渥美さん、小川さんの3名です。

冒頭、渥美さんから米作りについて、日本人にとって大切な文化であること、そして稲作が2000年以上前から続いている日本の大事な文化であることの紹介がありました。また、千坂さんからは米の品種についての説明と今日植える稲が「みやこがね（最高級のもち米）」であることの説明がありました。そして小川さんからは「鉛筆をもつように苗をもって・・・さす」という植え方の指導がありました。



どんどん世の中が便利になって、お金を出せば何でも手に入る時代になりました。もちろん便利な世の中を否定するつもりはありませんが、便利さはどこかで何か犠牲にして（捨てて）成り立っているように思えます。これから子供たちはSociety5.0[※]の時代を生きていきます。だからこそ、現実社会にきちんと軸足をおき、自分の頭で考えることのできる子供になってほしいと願っています。今回の2年ぶりの米作り復活には、一度途切れそうになった地域の方々との絆を取り戻すとともに、コロナ禍で体験や見学に制限があるからこそ校内で何ができるのかを考えた前学校コーディネーターの先生の願いがありました。初夏の青空の下、心地よい汗が滲んだ5年生の子供たちの笑顔がとても印象的でした。みなさんお疲れ様でした。

※ソサエティー5.0（Society 5.0）は、日本が提唱する未来社会のコンセプト。サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、新たな未来社会（Society）を”Society 5.0（ソサエティー5.0）”として提唱している。（文責：手代木）